

# 製本のススメ

Vol. 67

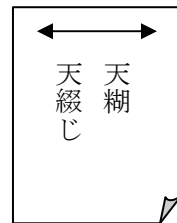
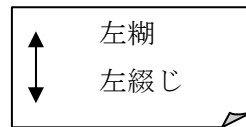
夏休みは、リフレッシュする事ができたでしょうか？高速道路の渋滞にもめげず、頑張った人も多いかな？ さて一年も半分過ぎて、今年も後半戦です。さあ、頭の中を切り替えて仕事モードでいきましょう！

今回も**基本**の話し\*7回目\*（伝票の背中ってどこ？）

さて6回目で紙目のお話しをしました。**紙目は背に対して平行に！**が大原則でした。では伝票類はどうでしょうか。天糊・左糊といますね、背中って、何処？と思った方もいるのではないですか？

**これらは、糊を付ける（綴じる）側を言います。**

糊がつくと湿気で紙が伸びます。この伸び方は一定では無く紙によって伸びる箇所が微妙に違います。これではしっかりと糊が付きづらばかりか剥しにくい伝票になってしまいます。



またミシン目加工がある場合、切り取りにくい、切り口がむしれたようになる等の原因にもなります。**この紙目の習性はどうにも変える事が出来ず、良い出来栄えには絶対になりません。**昨今 この紙目を理解せずに印刷されて入荷する事が増えており、製本会社へのクレームになるということが増えています。どうにも対応しがたいのがこの紙目です。とりわけメモ帳・社用便箋・極少冊の伝票類では、この紙目によるトラブルが多く起きています。

印刷は【刷れたら終わり】ではありません。**紙選びの段階から**製品の形を想定しましょう。**何度も書きますが紙目を軽んじてはいけません。**

さて余談になりますが、昔は製本のトレーニングといえは伝票類でした。紙を揃える・揃えた紙を積み上げる・（糊付けの為に）刷毛を使うなど、製本加工の基礎となる知識と作業がふんだんに盛り込まれているからです。



## Teabreak

旧暦の8月15日（現在の9月18日前後）はちょうど満月にあたります。この日を十五夜と呼び満月にお供え物などして貴族階級の間で宴が催されましたが、のちに一般庶民にも広まり全国的な行事へ発展したようです。

旧暦では7月から9月までが秋で、8月はちょうど真ん中である事から中秋の名月ともいいます。秋の実りを感謝し、まもなく来る冬の前準備を始める時期でもありました。

by (株) 井関製本